

平成30年度

江坂公園自転車駐車場改修工事

完 成 図

工期 着工 平成31年1月25日
完成 平成31年3月31日

設計監理 吹田市土木部総務交通室

施工 株式会社 タイキヨー

特記仕様書

特記仕様書

工事名称	江坂公園自転車駐車場改修工事
工事場所	吹田市江坂町1丁目19番1号
工事期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで
工事範囲	・建築工事 1式 (図面枚数 8枚) ・電気設備工事 1式 (図面枚数 3枚) ・機械設備工事 1式 (図面枚数 1枚) ・その他設計図書、現場説明事項に含まれるすべての工事
別途工事	・電気設備工事 1式 (図面枚数 1枚) ・機械設備工事 1式 (図面枚数 1枚) ・ガス設備工事 1式 (図面枚数 1枚)

一般共通事項

工事仕様 本工事は本特記仕様書及び図面により行い、特記仕様書及び図面に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁常総部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年度版及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年度版（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、工事期間中に新しい版が発行された場合は監督職員と協議するものとする。なお、図面及び仕様書の記載事項の優先順位は下記による。

官公署その他への届出手続き等 1.質疑回答書（2～5に対するもの） 2.現場説明書 3.特記仕様書 4.図面 5.標準仕様書
工事に必要な官公署その他への手続き等は、すべて受注者が代行して遅滞なく行い、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

完成検査 工事が完成したときは、監督職員に通知し、本市検査員の検査を受ける。

支払い等 ※揮発性有機化合物濃度が指針値以下であることを確認した後、検査が受けられるものとする。
本市検査員の完成検査を受け、合格した後、請求できるものとする。
実施工程表及び内訳書（各2部）を提出する。また、工事日報、工事月報、工事写真、各種試験成績書、主要材料納入検査報告書、その他監督職員の指示する書類をA4ファイルに整理のうえ提出する。なお、冊数が多い場合はボックス（参考 コクヨEC-001）に入れて提出する。

提出書類及び受験書類 提出された成果品に関する権利はすべて発注者に帰属するものとする。

災害防止 作業場の内外問わず工事施工に伴う危険防止、騒音防止、風水害防止等のため、建築基準法、労働基準法、消防法、環境基本法、吹田市環境基本条例その他関係法規に従ってその方策を講じること。

火災保険等 受注者は工事目的及び材料等について、火災保険及び第三者に対する損害保険等をかけること。

工事実績情報の登録 受注者は、本工事が請負代金額500万円以上の場合は、（財）日本建設情報総合センターに工事実績情報の登録を行うこと。登録においては、その内容についてあらかじめ監督職員の確認を受けた後、次に示す期間内に登録機関に登録申請を行い、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書（工事実績）」を監督職員に提出すること。

- (1) 工事受注時 契約締結後10日以内
- (2) 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内
- (3) 工事完成時 工事完成後10日以内

再生資材の利用 「再生資源の利用の促進に関する法律」その他関係法令等により、再生資源の積極的利用に努めること。再生資源利用（促進）計画書（実施書）を提出すること。

検査及び試験 検査及び試験に要する費用はすべて受注者の負担とし、成績書及び報告書を（1部）提出する。工事区分一覧表による。

工事取合い 既設建物及び別途工事と本工事との取合い、納まり等図示なき部分も遺漏なきよう施工のこと。施設等で本工事によって支障が生じる場合は、監督職員の指示により養生又は移設し、現状復旧のこと。

施工図 施工に先立って監督職員の指示するものについて施工図を作成し、承諾を受ける。別途工事との取合いは、納まり、設備機器等の位置を記入した図面を作成したうえ調整をし、監督職員の承諾を受ける。

工事報告 工事期間中は工事日報、工事月報、工程表及び監督職員の指示するものを遅滞なく提出する。

工事搬入路	工事搬入路は監督職員及び施設管理者と十分打合せし、良好な維持管理を行う。なお、維持管理、復旧に要する費用はすべて受注者の負担とする。
作業跡地整地	工事完成時には使用した敷地、施設、道路等の泥土、作業残材等を完全に取除き、現状復旧した後返還すること。
警備安全	本工事期間中は児童、生徒、一般通行人、一般車両等に迷惑のかからないよう配慮し、十分な安全管理を行う。なお、万一被害を与えた場合は受注者の負担において解決し、それに要した費用はすべて受注者の負担とする。
使用材料	内装材（下地材及び接着剤等を含む。）に使用する材料は、ホルムアルデヒドの放散量がJIS及びJASで定めるF☆☆☆☆等級のもの、揮発性有機化合物の含有量の少ない材料の使用を原則とする。使用前に材料のカタログ、化学物質等安全データシート（MSDS）等を監督職員に提出し、承諾を受ける。

揮発性有機化合物 指示した室の揮発性有機化合物の濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書（2部）を提出する。

測定法 標準方法（厚生労働省のがめる標準的方法）

採取方法：ハッソ式、またはアクティブ式

測定項目：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレノ

分析方法：高遠液体クロマトグラフ測定法（ホルムアルデヒド）、

ガスクロマトグラフ測定法（その他）

測定対象室：（ ）

測定箇所数は室の床面積A(m²)による。

A≤50(1箇所) 50< A≤200(2箇所) 200< A≤500(3箇所) 500< A(4箇所)

合計測定箇所 箇所

（注）ハッソ式は1箇所1検体採取

アクティブ式は1箇所2検体採取

測定は環境計量証明事業者による

作業中の安全確保 及び環境保全

- ・雨天の場合等やむを得ない場合を除き、内部施工中は極力サッシ等を開放し、通風及び換気を行う。また、物入、キッチンキャビネット及び押入れ等閉塞個所の扉などもできるだけ開放し、通風及び換気を行う。

同等品の取り扱い

- ・内部において接着剤、塗料等を用いて施工する場合、使用方法、塗布量、乾燥期間及び施工中における窓開放等に関する事項を施工計画書に明記し、作業者に対しても指導を行う。

施工体制台帳 及び体系図

建築材料の製造所、製品及び施工法、施工業者等については、原則別表から選定する。また、材料・製品を別表に記載の製造所から選定できない場合は、同等以上の取り扱いについて、監督職員と協議する。

工事表示及びコスト表記

受注者は、「入札契約適正化法」「建設業法」等に基づき施工体制台帳及び体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、工事完成時には、施工体制台帳及び体系図を整理のうえ（1部）提出する。なお、警備会社についても施工体系図に組み込むものとする。

完成図書

本工事及び分離工事の請負額の合計が250万円を超える場合は、工事名、工事期間、請負額の合計、設計、監理及び各工事受注者その他必要事項を記入し、指示する場所に表示のこと。（A2版程度・1か所）

工事写真

なお、監督職員が指示する場合は、金額に関わらず設置すること。

完 成 図

工事着手前、工事中、完成時、事故発生時及び監督職員の指示する場所を撮影し、L版相当サイズで印刷し提出する。（A4版用紙1ページあたり3枚）

提出部数は1部とし、データもCD-R等に整理して提出のこと。

工事完成後、監督職員の指示に従い、完成図を作成し提出する。

縮小二つ折（A3版）黒文字製本（2冊）

◎CADデータ（CD-R等） ◎JWW ◎SXF（又はDXF）

◎PDF ・その他の任意のCAD形式 ・JPEGもしくはTIFF

建設副産物の処理等	※構外搬出適切処理
	本工事に伴い発生する建設副産物の処理に当たっては、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設副産物の適正処理推進要綱」等に基づき、再資源化の積極的活用を図る。
	「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「建設副産物の適正処理推進要綱」、「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他の関係法令を遵守し、適切に処理し、計画書等を提出すること。
	・建設リサイクル法による事前通知書（解体工事80m ³ 以上、新築増改築工事500m ³ 以上、修繕・模様替工事1億円以上）
	・再生資源利用計画書及び実施書
	・再生資源利用促進計画書及び実施書
	・引き渡しを要する物（図示による）

コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊及び建設発生材（解体廃材）については、再資源化施設の受け入れ条件を勘案して、分別及び破碎又は切断を行ったうえで、再資源化施設に搬出すること。

非飛散性アスペスト成形板の場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「アスペスト（石綿）廃棄物の処理について」、「石綿含有廃棄物等処理マニュアル」、「非飛散性アスペスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」及びその他関連法令を遵守し、適切に処理すること。マニフェストの「産業廃棄物の種類」欄の余白に「非飛散性アスペスト成形板」と記載すること。

※産業廃棄物処理報告書を下記のとおり提出する。

- 処理、収集運搬業者との委託契約書（写）
- 収集運搬許可書、処分業許可書（写）
- 収集運搬、処理のフローチャート（手順表）及び運搬経路の地図（現場一中間処理最終処分地）と各施設の写真
- 産業廃棄物管理票（マニフェスト・A、B2、D、E）（写）、計量伝票及び集計表
- 運搬車の登録番号（ナンバープレート）リスト、搬出車両の写真（側面・正面・背面）

アスペスト含有建材 建築用仕上塗材の分析調査

内外装に使用された建築用仕上塗材について、石綿含有分析調査（定性分析・定量分析）を事前に実行し、調査結果報告書を2部提出すること。試料は同一箇所から「仕上塗材層のみ」、「仕上塗材層+下地調整塗材」の2種類を採取すること。「仕上塗材層+下地調整塗材」は試料調製を行い、下地調整塗材のみの分析を行うものとする。試料の採取方法及び分析方法は「アスペスト分析マニュアル【1.12版】平成30年1月（厚生労働省）」によるものとする。

・試料
(仕上 :) (場所 :)
(仕上 :) (場所 :)

※分析調査の結果、石綿を含有する場合は、対策について監督職員と協議すること。

石綿含有建材
石綿含有吹付け材（・あり・なし・みなし）
(材料 :) (場所 :)
石綿含有保温材・石綿含有耐火被覆材・石綿含有断熱材（・あり・なし・みなし）
(材料 :) (場所 :)
石綿含有成形板（・あり・なし・みなし）
(材料 : 石膏ボード) (場所 : ブレハブ)
石綿含有仕上塗材（・あり・なし・みなし）
(材料 :) (場所 :)

※関係法令及び標準仕様書に基づき、適切に処理すること。

工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	特記仕様書（1）		
縮尺		設計	番号 A1/12
施 工	土木部	総務交通室	年月日 H30.11

完成図

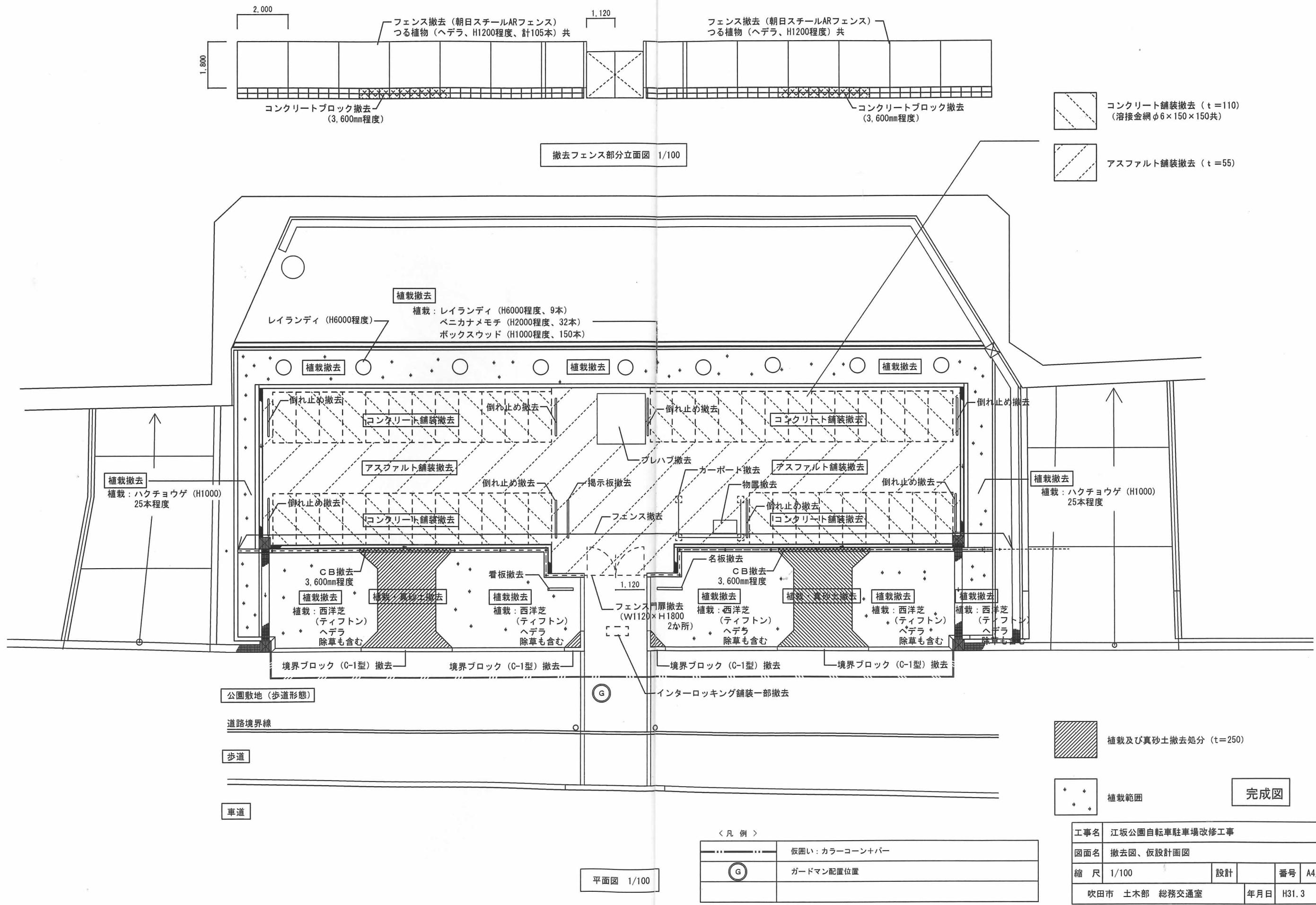
特記事項			
仮設工事	図面によるほか、状況に応じて監督職員の指示により仮囲い又はバリケードを設けること。 工事用電力及び水については、構内既存の施設は利用できない。	タイル工事	陶磁器質タイル JIS A 5209 モザイクタイル及び内装タイルは、タイル製造所の標準品とする。 見本品及び割付け図を作成し、監督職員の承諾を受ける。
仮設養生について	はつり工事等で騒音・粉塵の発生する工事では、外部窓面にシートを設置するなどの防音・防塵対策を施し、近隣に十分配慮すること。	張り付け	工法は、内装は接着剤張り、外装は改良圧着張りとする。
撤去工事	発生材は受注者の場外自由処分とする。関係法令に従い適切に処理し、産業廃棄物管理票（マニフェスト）等、監督職員の指示する書類を提出し、報告する。	下地	モルタル塗を行うコンクリート素地面は目荒らし工法とする。
土工事		木工事	日本農林規格に合格したものとする。
根切り	機械掘りする場合は根切り底より深く掘過ぎないよう注意すること。床付き面は手掘りとする。	木材	構造材、床組、コンクリートに接する部分はひのき1等、軸組は杉1等、造作材は米ひ上小節とする。その他は図示による。
残土処分	受注者の構外自由処分とする。関係法令に従い、適切に処理する。	樹種	寸法 図中書込み寸法は、構造材、下地材はひき立て寸法、造作材は仕上り寸法とする。
	残土処分報告書として、以下の書類を提出すること。	寸法	
	1. 残土処分契約書 2. 処分地の受け入れ証明書		
埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の種別はB種とする。	屋根及びとい工事	と い 屋外 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管：カラーVP） 屋内 JIS G 3452（配管用炭素鋼管、白管）防露巻きを行う。
転圧	埋戻し及び盛土部分の転圧は、ローラー等にて充分転圧を行う。	とい受金物	ステンレス製（SUS304）@1000以内とする。
地中埋設物	本工事に支障のある地中埋設物は、監督職員及び施設管理者と打合せを行い、移設又は取壊しを行う。それに要する費用はすべて受注者の負担とする。	飾り桟	塩ビ製市販品とする。
地業工事		金属工事	SUS304とする。表面仕上げはHL仕上げ程度とする。
砂利地業	再生クラッシャランとし、粒度は、JIS A 5001によるC-40程度のものとする。	ステンレス	軽量鉄骨下地 JIS A 6517（建築用鋼製下地材）
割り石地業	割り石は硬質のものとする。また、目つぶし砂利の材料は、砂利地業による。	天井点検口	天井は屋内19形、屋外25形とする。壁は65形とする。
鉄筋工事		階段滑り止め	アルミ製市販品 450×450 仕上げは天井と同様とする。
材 料	鉄筋 JIS G 3112 SD295A (D16以下)、SD345 (D19以上) 溶接金網 JIS G 3551 Φ6×100×100	階段手すり	ステンレス製ビニルタイヤ入りとする。取付けは接着工法とし、接着剤と小ねじの併用とする。
	監督職員の指示のある場合は、規格証明書を提出する。	身障者用手すり	心材、プラケットはアルミ押出形材とし、笠木は塩ビ製とする。Φ34とする。
配筋	各部の配筋は図示による。その他は監督職員と協議の上決定する。		ステンレス一体型とする。
コンクリート工事		左官工事	
材 料	レディミクストコンクリートの類別はI類とする。構造体の強度はFc=21N/mm ² とする。 スランプは15~18cmとする。 Fc=18N/mm ² のコンクリートは監督職員の承諾を受けて、「標準仕様書6.2.4材料及び調合の条件」から変更することができる。	下地処理	モルタル塗りを行う部分は、高圧洗浄、デッキブラシ等で十分な清掃を行う。また、下地が浮いている部分は直ちに補修する。シーラーその他の材料はメーカー仕様による。
		仕上塗材	JIS A 6909（建築用仕上塗材） JIS A 6916（建築用下地調整塗材） 仕上塗材の種類、仕上げの形状及び工法は、図示による。
強度試験	標準仕様書による。ただし、監督職員が指示する場合は試験数を増やすことができる。		
鐵骨工事		建具工事	
材 料	JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）SS400 JIS G 3350（一般構造用軽量形鋼）SSC400	防火戸	防火戸の指定は図示による。 自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器の運動は図示による。なお、防煙シャッターの場合は、煙感知器と連動するものとする。
錆止め塗装	標準仕様書による	アルミ製建具	種別はB種とする。外部に面するアルミ製建具の性能等級等は、標準仕様書による。
ブロック工事		工法	かぶせ工法 既存建具の外周枠を残し、その上から新規の建具を取付ける。既存枠が新規に取付けた建具に対して十分な耐力が期待できない場合は、補強板又はあと施工アンカー等の併用について監督職員と協議する。既存枠の錆止め塗料は、標準仕様書による。
材 料	JIS A 5406（建築用コンクリートブロック）C種 空洞ブロック+6屋外は防水型とする。	かぶせ工法	
防水工事		撤去工法	既存建具の枠回りをはつり又は油圧工具によって撤去し、新規の建具を取付ける。撤去時は内外装を傷めないように十分注意する。
アスファルト防水	A S - J 1（常温粘着工法） E-2（屋内防水密着工法） 24時間水張り試験を行う。	木製建具	種別はB種とする。材料は米ひとする。
塗膜防水	X-2（ウレタン系塗膜防水）		合板類のホルムアルデヒドの放散量 JASで定めるF☆☆☆☆等級のもの。
合成高分子系ルーフィングシート	図示による。		パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒドの放散量 JASで定めるF☆☆☆☆等級のもの。
モルタル防水	モルタル防水押さえ、モルタル防水のうえ、防水剤入モルタルにて押さえとする。	重量シャッター	JIS A 4705 種類及び閉鎖機能は、図示による。
保証書	受注者、防水施工業者、材料メーカーの連名とし、各2部提出する。保証年限は下記による。 アスファルト防水：10年（仕上げ塗料を含む） 塗膜防水：10年（仕上げ塗料を含む） 合成高分子系ルーフィングシート防水：10年 モルタル防水：5年 仕上塗料は保証期間中塗替え不要なものとすること。また、仕上塗料はグリーン購入法適合の高反射塗料とすること。	軽量シャッター	一般重量シャッター及び外壁用防火シャッターの場合の耐風圧強度は、図示による。
シーリング	JIS A 5758（建築用シーリング材） シーリング材の種類は、図示による。また、シーリング材は揮発性有機化合物の含有量の少ないものとする。可塑剤は難揮発性のものとする。	建具用金物	JIS A 4704及び製作所の仕様による。また、閉鎖形式及び耐風圧強度は、図示による。
石工事		はずれ止め	材質はステンレス製とする。予備品としてクレセント及び戸車を各10個、また、戸当たりゴム及び召し合わせ継を各取付個数分施設へ支給する。
材 料	石材 JIS A 5003 種類及び表面仕上げは図示による。 見本品、割付け図及び取付け工作図を作成し、監督職員の承諾を受ける。	シーリング鍵	引違窓に建具メーカー仕様の落下防止以外に、上部レールに落下防止を取付ける。 標準仕様書による。 マスターキー合わせとする。
塗装工事			
材 料			
漆喰工事			
材 料			
塗装工事			
材 料			
塗装工事			
材 料			
内装工事			
ビニル床シート	JIS A 5705（ビニル系床材）		
フローリング	接着剤はエボキシ樹脂系のものとし、揮発性有機化合物の含有量の少ないものとする。		
普通合板	ホルムアルデヒドの放散量がJASで定めるF☆☆☆☆等級のものとする。樹種はぶなどする。		
壁紙	ホルムアルデヒドの放散量は、JIS・JASで定めるF☆☆☆☆等級のもの。		
回り縁	ホルムアルデヒドの放散量は、JIS・JASで定めるF☆☆☆☆等級のもの。		
その他工事			
舗装工事	図示による。インターロッキングブロック等は、吹田市灰溶融スラグ入り製品とし、JIS規格品、または、大阪府リサイクル製品認定品とする。		
	また、同上製品を使用した旨を示す標示ブロック（300×300）を設置すること。設置場所・数量は監督職員の指示による。		
アスペスト処理工事			
アスペスト含有	石綿を含有する建築用仕上塗材面（下地調整塗材を含む）に穿孔やはつり等の作業を行う場合は、		
仕上塗材面の施工	湿潤化や集じん機を使用するなど、石綿の飛散防止対策を行い、作業内容に応じた保護具等を着用のうえ、作業を行うこと。また、作業にあたって必要な届出を行うこと。		
メーカーリスト			
外構工事			
フェンス	JFE建材フェンス LIXIL YKKAP 朝日スチール 三協立山アルミ 四国化成工業		
完成図			
工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	特記仕様書（2）		
縮尺		設計	番号 A2/12
吹田市 土木部 総務交通室		年月日	H30.11

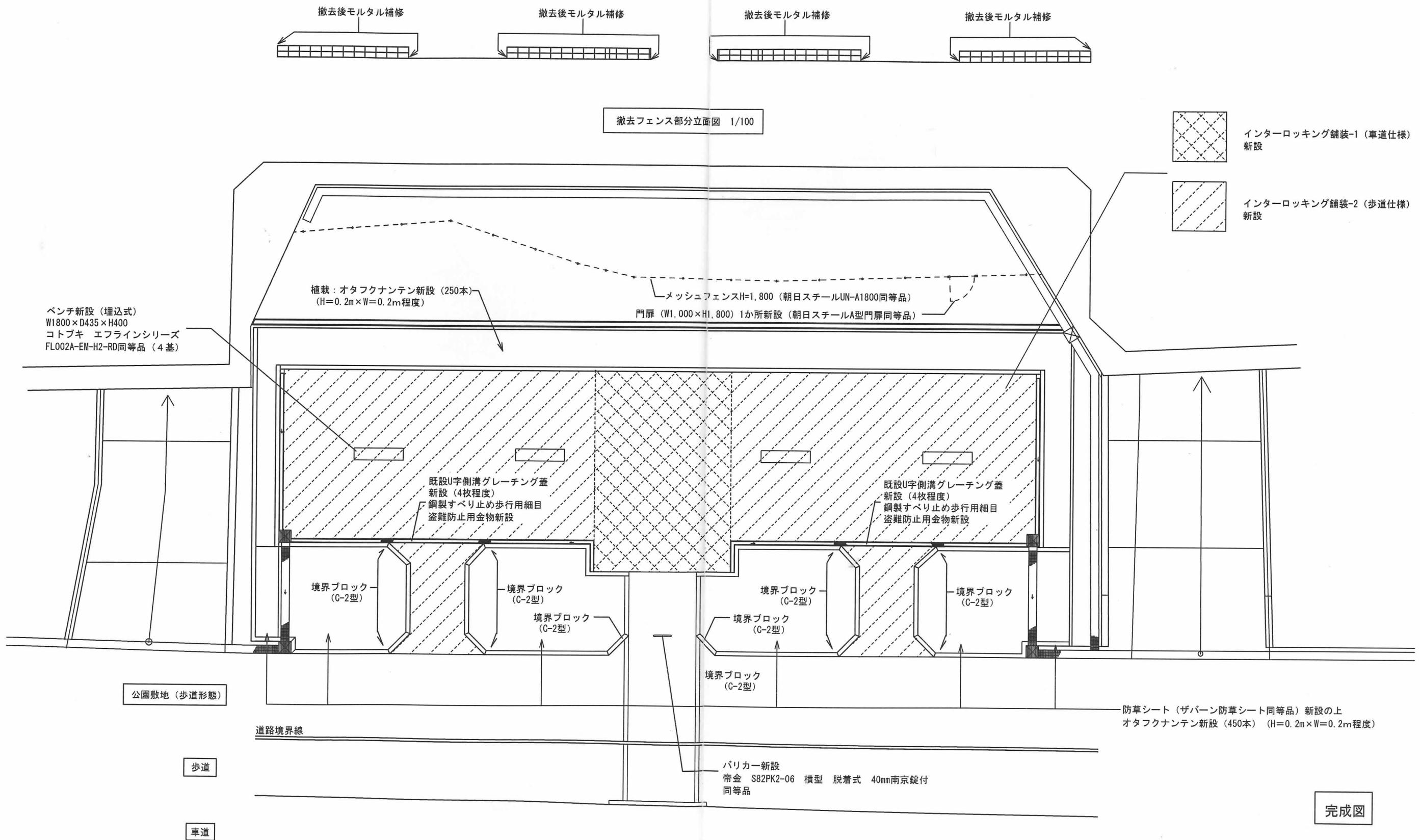


附近見取図 1/1000

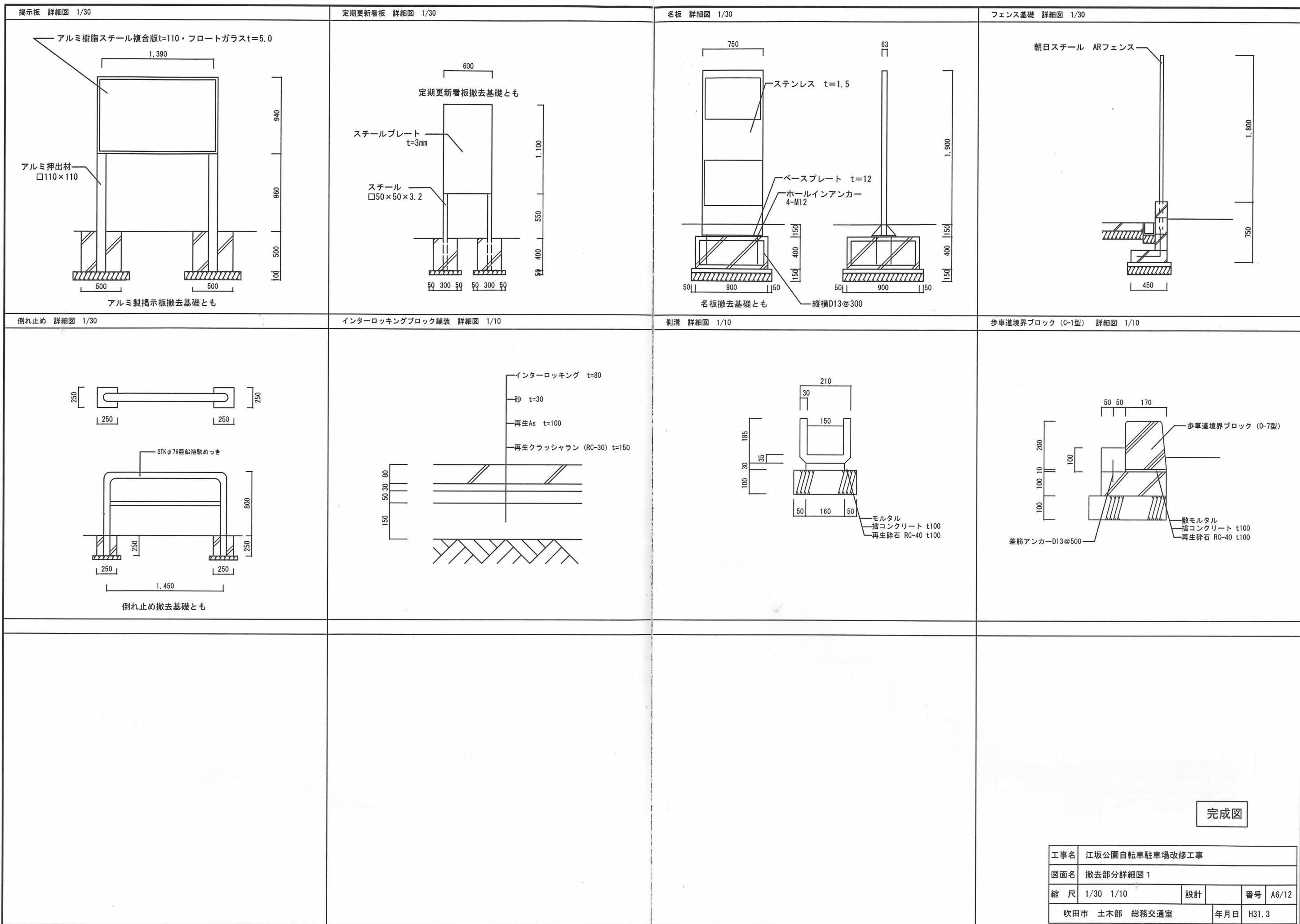
完成図

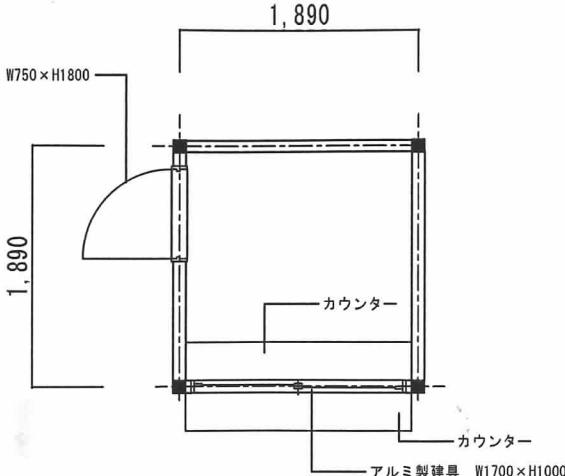
工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	附近見取図		
縮尺		設計	
吹田市 土木部 総務交通室		年月日	H30.11



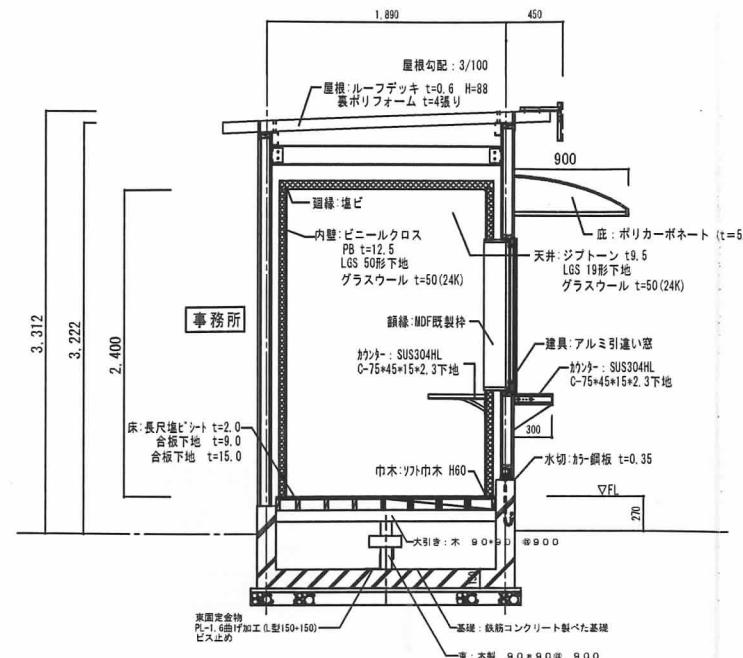


工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	改修図		
縮 尺	1/100	設計	番号 A5/12
吹田市 土木部 総務交通室	年月日	H31.3	

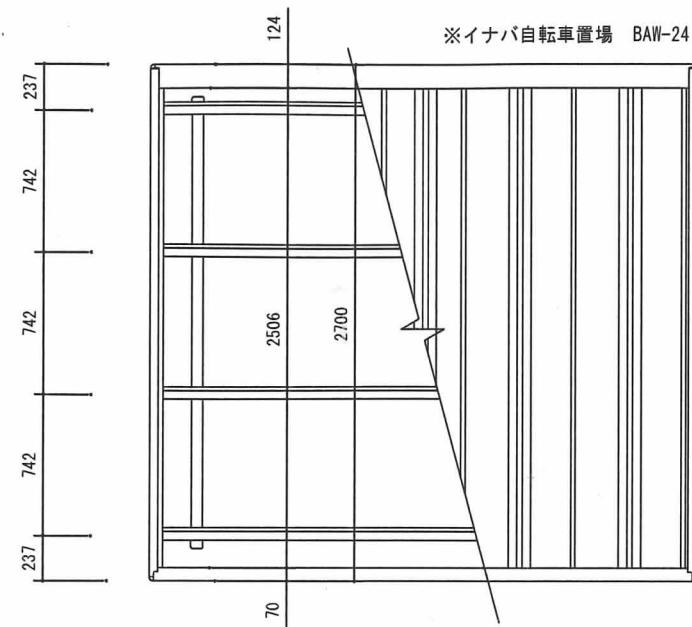




プレハブ平面図（参考図） 1/30



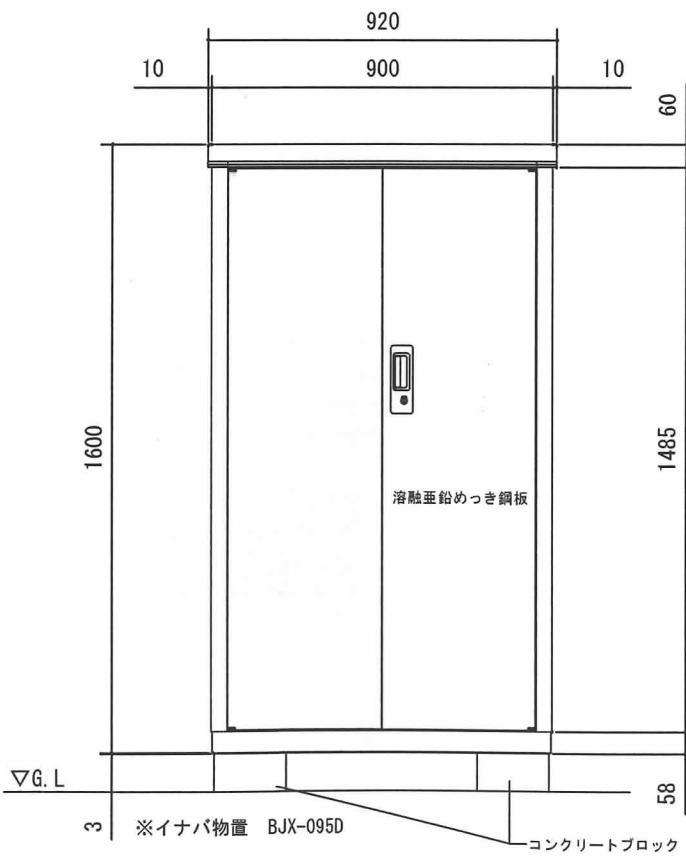
プレハブ断面図（参考図） 1/30



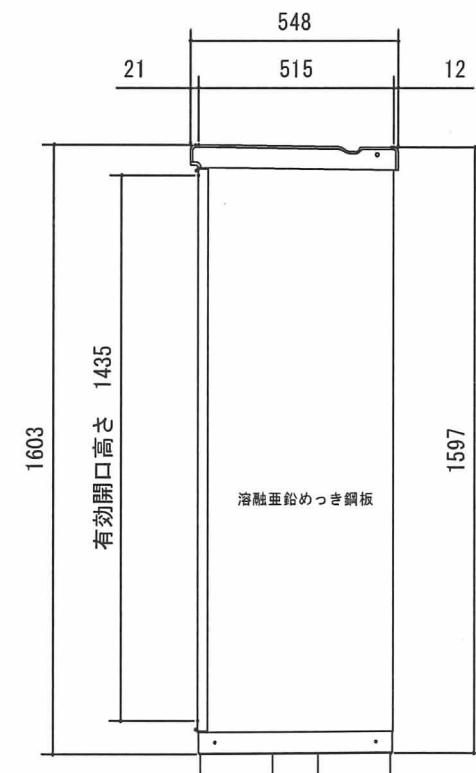
カーポート平面図（参考図） 1/20

カーポート部材			
品番	部品名	材料(材質)	単位mm
1	柱	PZ	2.3
2	梁	PZ	2.3
3	母屋	F12	1.6
4	腰パネル	F12	0.6
5	屋根パネル	Y10	0.5
6	妻板	Y10	0.7
7	鼻隠シ	Y10	0.7
8	プレート	F12	2.3
9	車止め棒	F12	1.2
10	雨とい	硬質塩化ビニールφ65	

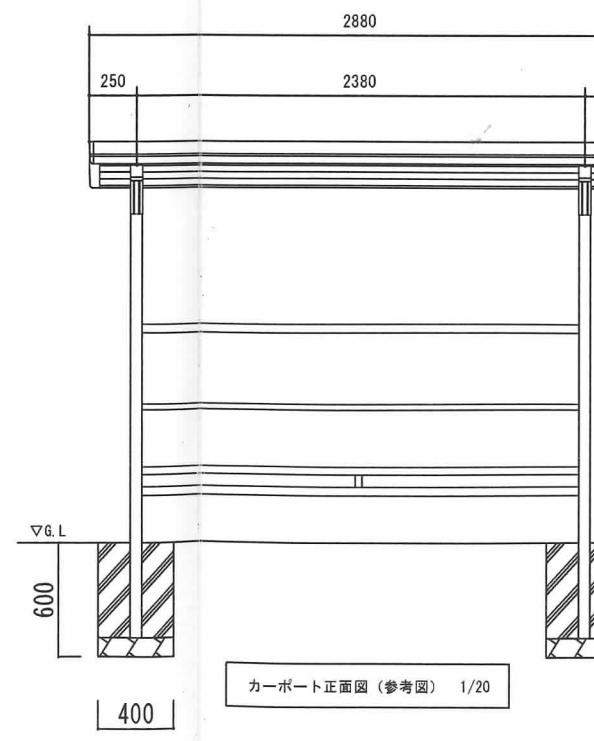
PZ→一般構造用角形鋼管(JIS G 3466)
F12→溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)



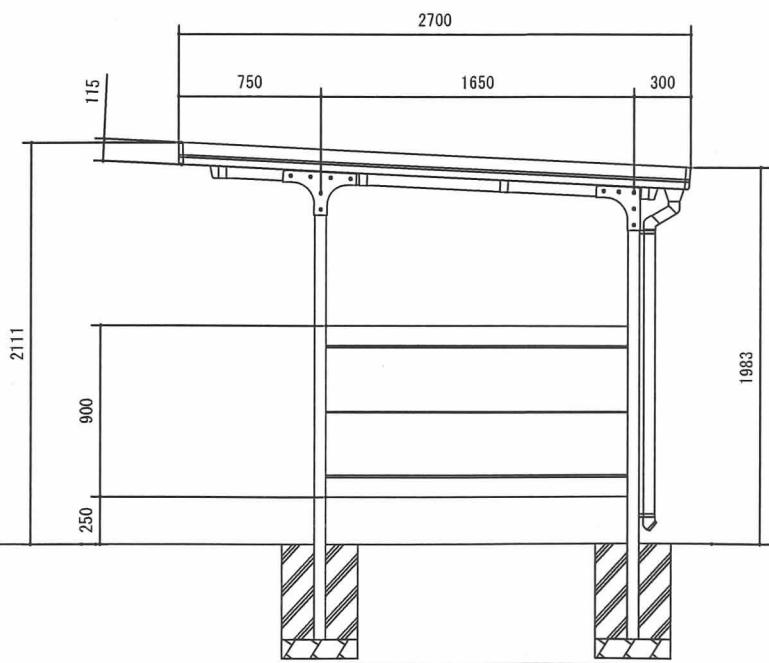
物置正面図（参考図） 1/10



物置側面図（参考図） 1/10



カーポート正面図（参考図） 1/20

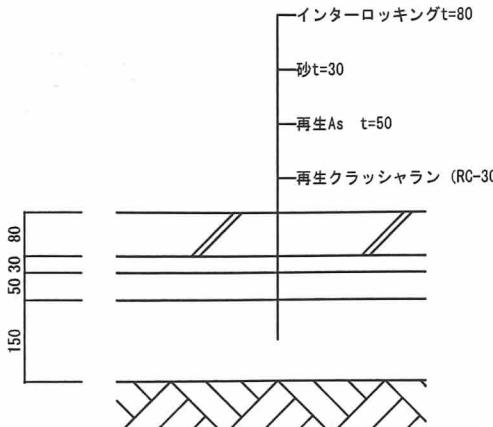
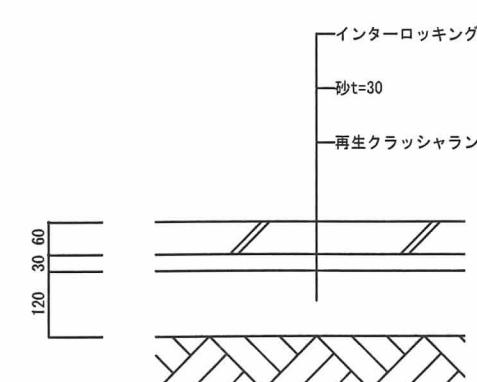
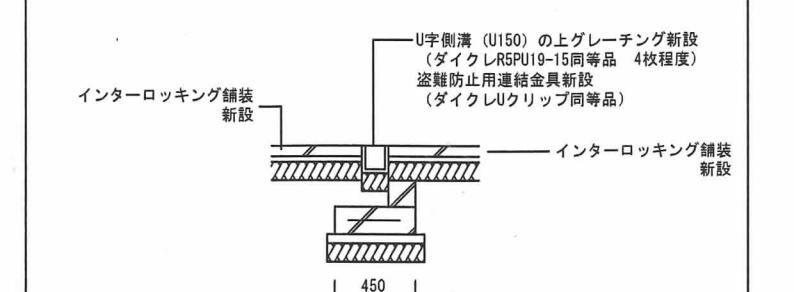
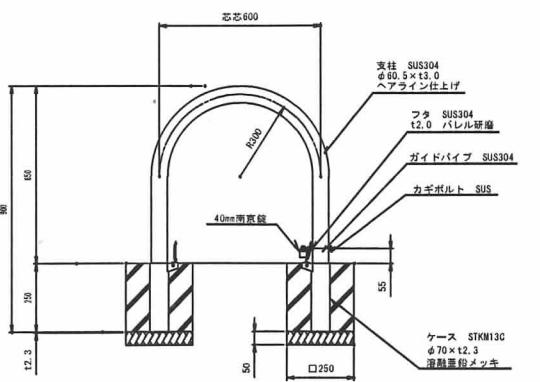
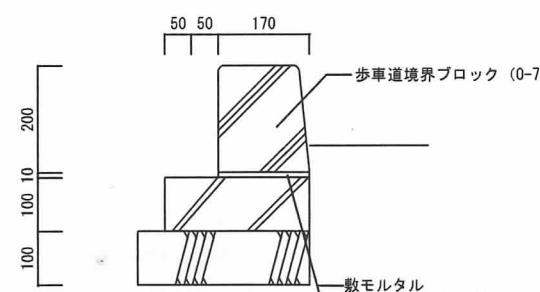


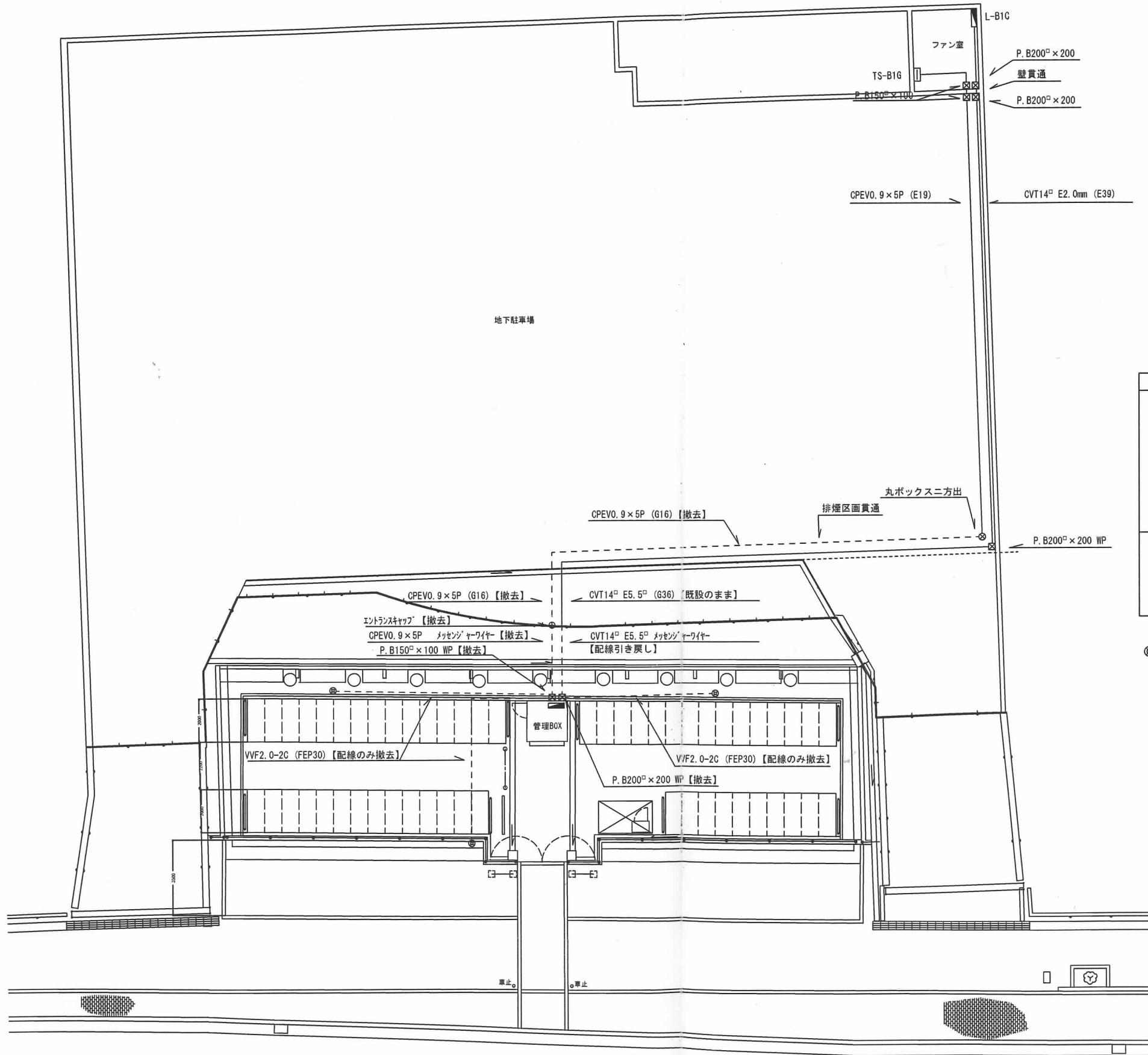
カーポート側面図（参考図） 1/20

完成図

工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	撤去部分詳細図2		
縮尺	1/30	1/20	1/10
設計			番号 A7/12

吹田市 土木部 総務交通室 年月日 H30.11

インターロッキング舗装-1 (車道仕様) 詳細図 1/10	インターロッキング舗装-2 (歩道仕様) 詳細図 1/10	U字側溝 詳細図 1/30	バリカー詳細図 (参考) 1/20																				
 <p>インターロッキング t=80 砂 t=30 再生As t=50 再生クラッシャラン (RC-30) t=150 150 80 50 30 80</p>	 <p>インターロッキング t=60 砂 t=30 再生クラッシャラン (RC-30) t=100 120 60 30 60</p>	 <p>U字側溝 (U150) の上グレーティング新設 (ダイクレR5PU19-15同等品 4枚程度) 盗難防止用連結金具新設 (ダイクレUクリップ同等品) インターロッキング舗装 新設 450</p>	 <p>芯600 支柱 SUS304 φ60.5×t3.0 ヘッド SUS304 12.0 バレル研磨 ガイドパイプ SUS304 カギボルト SUS ケース STKM130 φ70×t2.3 溶剤塗装メッキ 600 55 55 12.3 75 40mm高さ部 口250</p>																				
歩車道境界ブロック (C-1型) 詳細図 1/10																							
 <p>歩車道境界ブロック (C-1型) 50 50 170 200 100 10 100 数モルタル 捨コンクリート t100 再生碎石 RC-40 t100</p>																							
完成図																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">工事名</td><td colspan="3" style="padding: 2px;">江坂公園自転車駐車場改修工事</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図面名</td><td colspan="3" style="padding: 2px;">新設部分詳細図</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">縮尺</td><td style="padding: 2px;">1/30 1/20 1/10</td><td style="padding: 2px;">設計</td><td style="padding: 2px;">番号</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;"></td><td style="padding: 2px;">A8/12</td><td style="padding: 2px;"></td><td style="padding: 2px;"></td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">吹田市 土木部 総務交通室</td><td style="padding: 2px;">年月日</td><td colspan="2" style="padding: 2px;">H30.11</td></tr> </table>				工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事			図面名	新設部分詳細図			縮尺	1/30 1/20 1/10	設計	番号		A8/12			吹田市 土木部 総務交通室	年月日	H30.11	
工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事																						
図面名	新設部分詳細図																						
縮尺	1/30 1/20 1/10	設計	番号																				
	A8/12																						
吹田市 土木部 総務交通室	年月日	H30.11																					



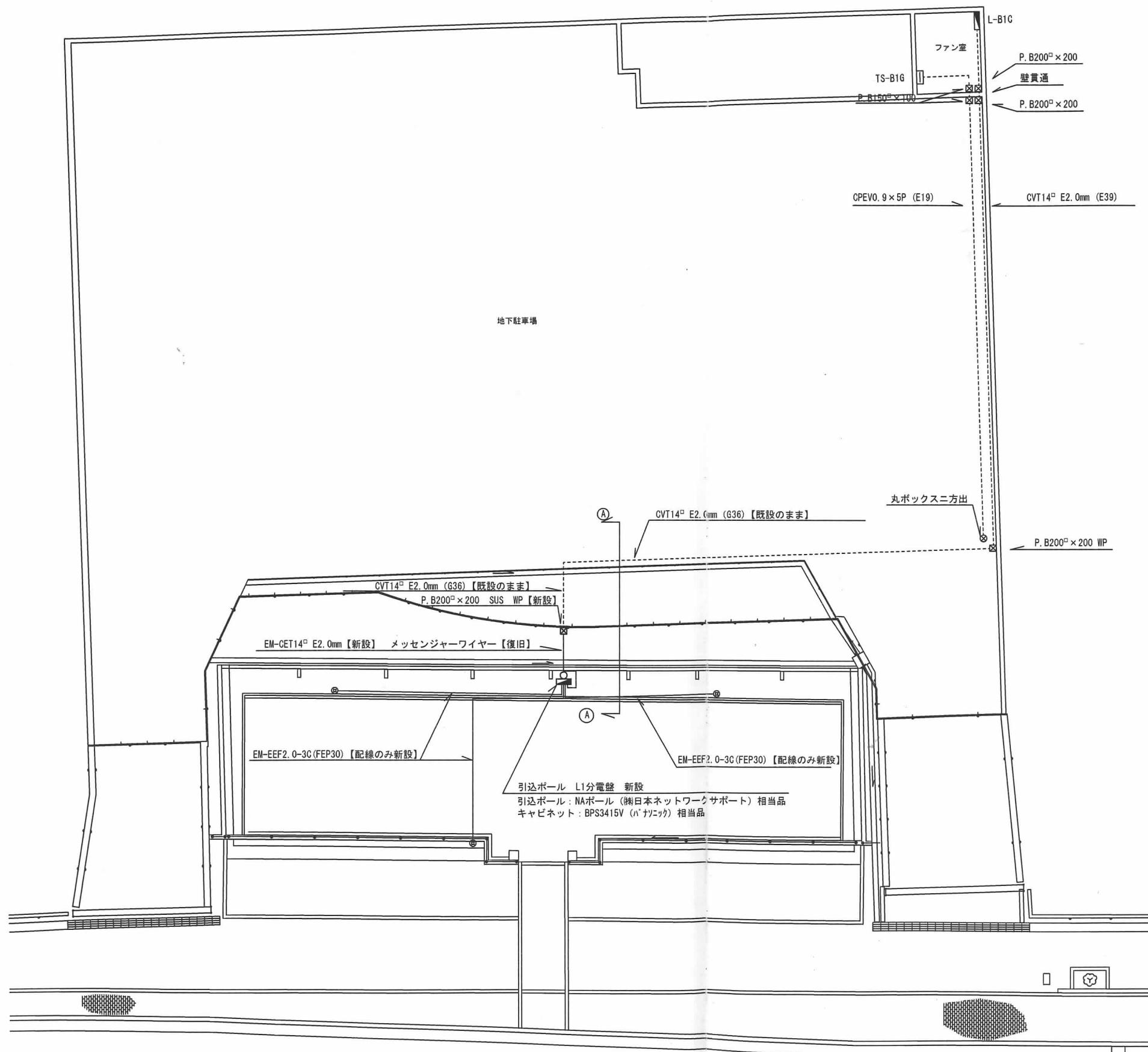
		数量	配線	撤去処分
管理棟 B O X	照明 FSS4-402 40W × 2	1	VVF1.6-3G	○
	一般コンセント 2P15A × 2	1	VVF2.0-2G	○
	インターホン用アウトレット	1		○
	エアコン用コンセント 100V	1	VVF2.0-3G	○
分電盤	1			○
外灯用タイマー	1			○
インターホン子機	1			○
備考	・分電盤・タイマー・自動点滅器は撤去 → 仮設 → 新設とする			

② 屋外灯

完成図

平面図 1/150

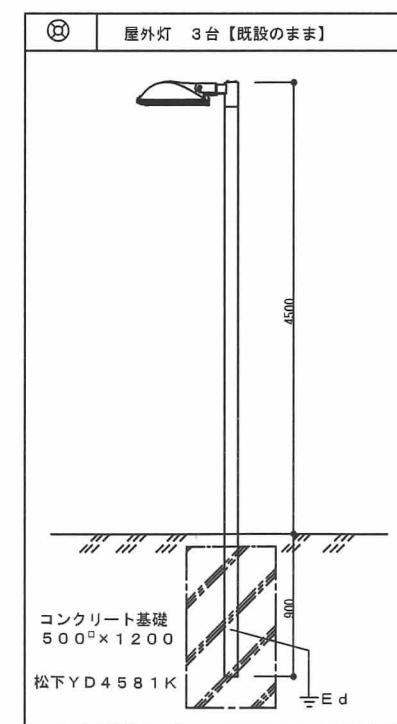
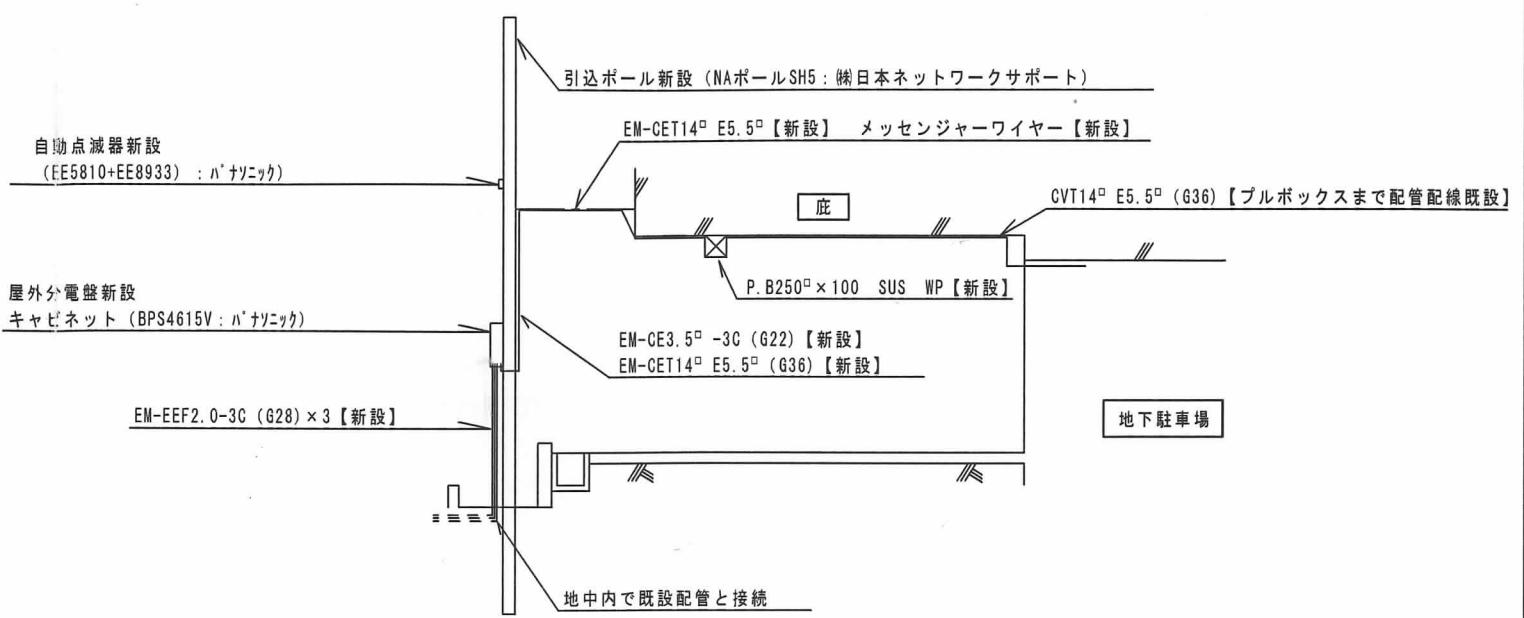
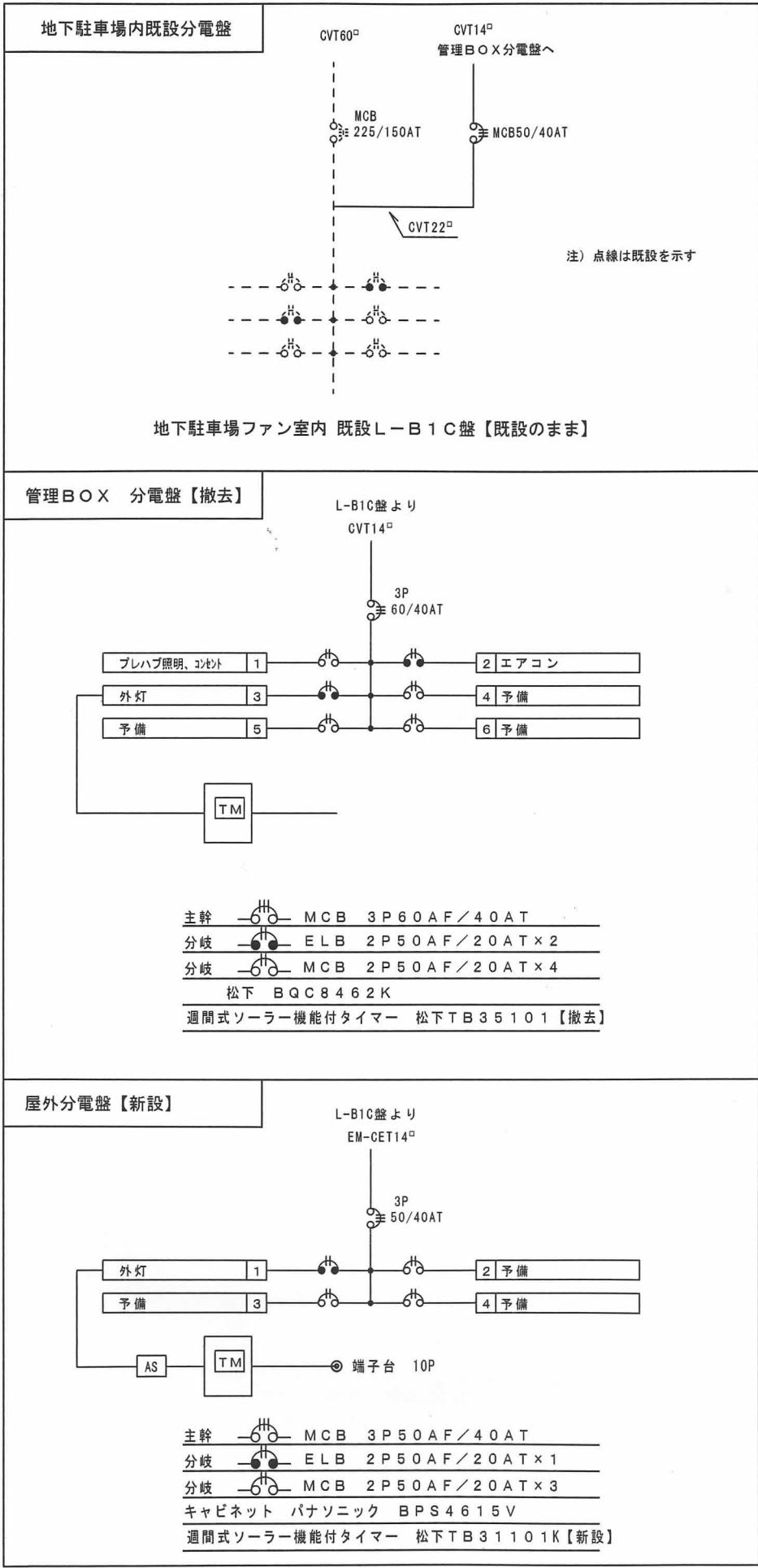
工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	撤去図（電気設備図）		
縮尺	1 / 150	設計	番号 A9/12
吹田市 土木部 総務交通室		年月日	H31.3



平面図 1/150

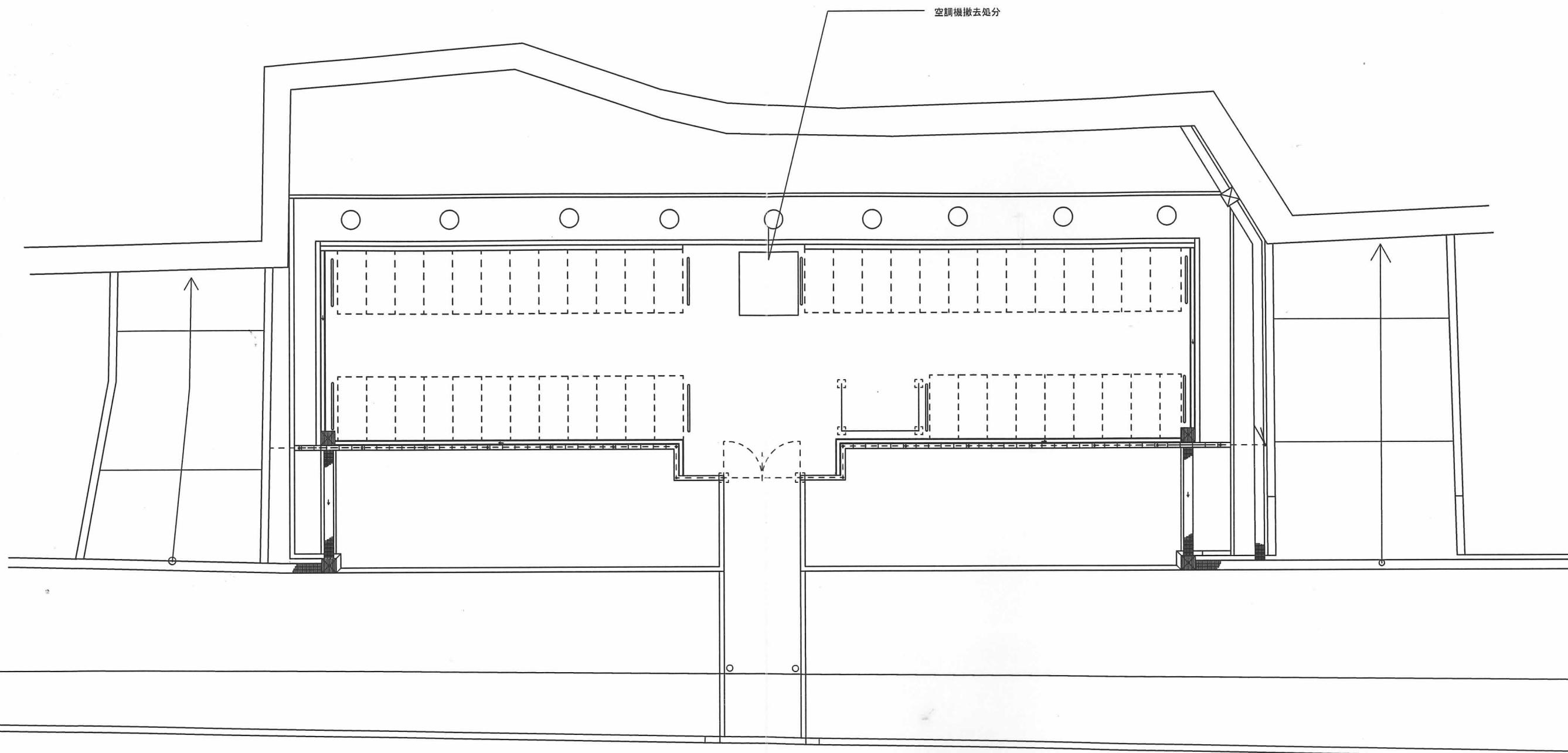
完成図

工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	改修図 (電気設備図)		
縮 尺	1 / 1 5 0	設計	番号 A10/12
吹田市 土木部 総務交通室		年月日	H30. 11



完成図

工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	分電盤・外灯姿図(電気設備図)		
縮尺	1:50	設計	番号 A11/12
吹田市 土木部 総務交通室	年月日 H31.3		



機械設備撤去リスト（空調機）

平面図 1/100

記号	仕 様	台数
AC-1	三菱 SRK22ZGV-W 冷房2.2Kw 暖房2.5Kw	1

完成図

・設備機器等の撤去・解体にあたっては関係法令に準拠し、適切に処理処分を行うこと

工事名	江坂公園自転車駐車場改修工事		
図面名	撤去図（機械設備図）		
縮 尺	1/100	設計	番号 A12/12
吹田市 土木部 総務交通室		年月日	H30.11